

令和6年度 大分支部事業計画(案)及び保険者機能強化予算(案)について(第1回)

全国健康保険協会 大分支部

1.令和6年度 事業計画及び支部保険者機能強化予算の策定にあたって

戦略的保険者機能の更なる強化を着実に実施していくためには、支部の課題を本部・支部で明確に共有し解決を図る必要があることから、令和4年度（令和5年度の事業及び予算）の事業計画及び保険者機能強化予算の策定より、スケジュールや予算体系並びに本部・支部間の情報共有等の在り方が変更されました。

これを踏まえ、支部において医療費や健診情報等より課題を抽出し、7月の評議会においても一部お示ししたうえで、ご意見をいただいたところです。

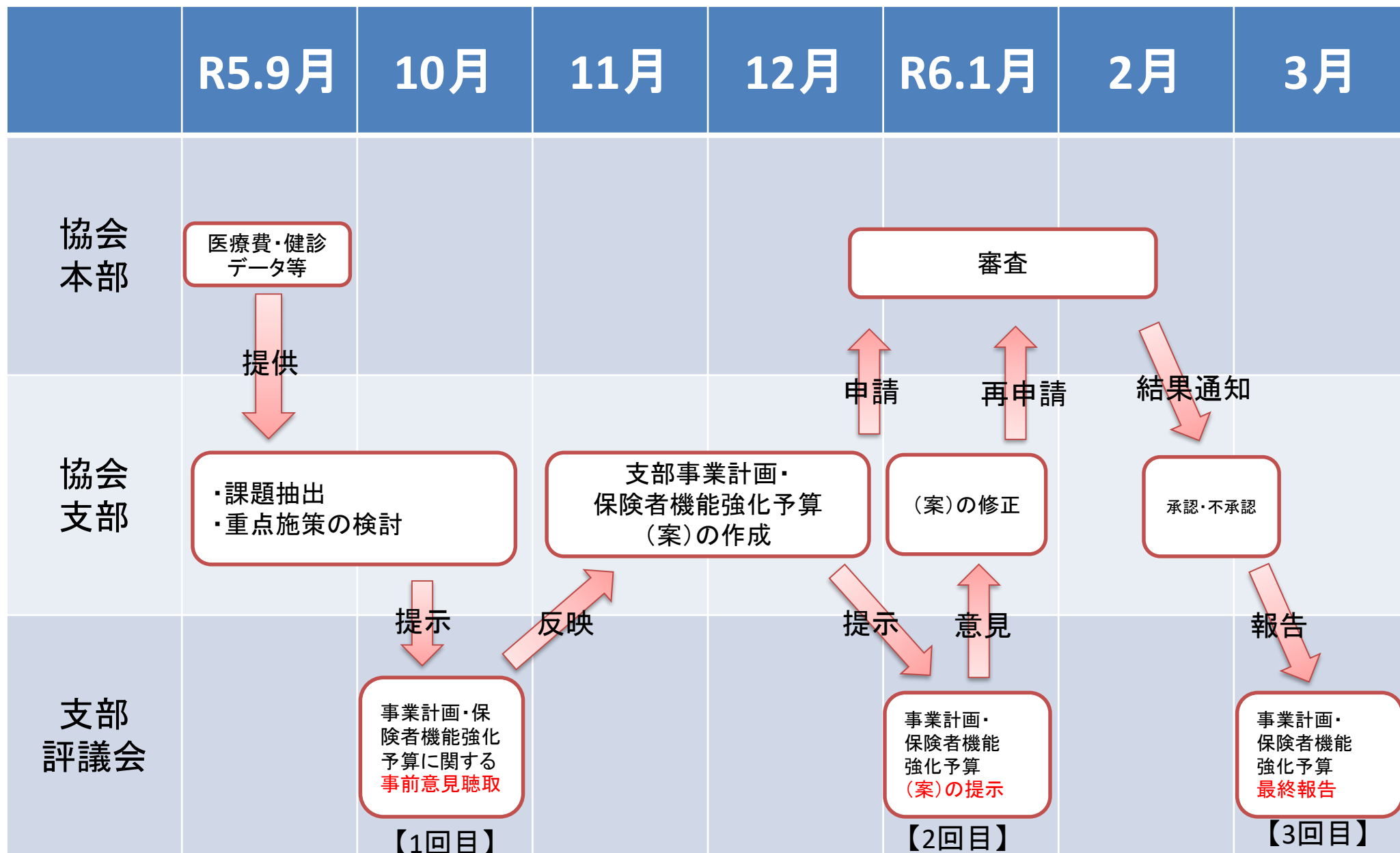
本日は、この抽出した課題に対応するための事業（案）及び更なる保険者機能強化に向けた主な保険者機能強化予算（案）について評議員の皆様からご意見をお伺いいたします。

〈本日ご意見をいただきたい点〉

- ①引き続き実施する事業について、改善等が必要と考えられる事項
- ②課題解決のための新たな取組（重点施策）に関する事項

2.策定スケジュール（現時点の見込み）

令和6年度支部事業計画及び保険者機能強化予算の策定



3.令和5年度支部保険者機能強化予算について（現状）

単位:円

分野	予算区分	事業区分	事業名	令和5年度予算	
医療費適正化予算	通常枠	医療費適正化対策経費	社会保険事務説明会の開催	1,036,200	4,512,000
			若年層における健康教育の実施	724,840	
			新生児の保護者に対する適正受診啓発冊子配布	1,410,981	
			70歳以上の加入者を対象としたお薬手帳ケースの配布	1,339,371	
			【紙媒体による広報】 ・協会けんぽニュース大分(納入告知書同封チラシ) 1,815,000円 ・支部事業PR冊子 165,000円 ・新規適用事業所配布用冊子(協会けんぽガイド) 682,000円 ・メールマガジン勧奨チラシ 60,500円 ・新入社員用冊子 496,980円 ・任意継続保険周知リーフレット 122,500円 ・限度額適用認定証利用促進チラシ 90,000円 ・マイナ保険証広報チラシ 115,500円	3,548,000	
	ジェネリック医薬品使用促進のためのトリニータマッチデー 広告掲載及びジェネリック希望シールの作成	442,200			
	SNSを活用した医療費適正化広報(医療機関未治療者への広報等)	2,838,825			
	通常枠 合計額 (予算上限額)			11,342,000 (11,342,000)	
	特別枠		計上なし	特別枠計上額 (予算上限額)	0 (2,810,000)

分野	予算区分	事業区分	事業名	令和5年度予算額	
保健事業予算	通常枠	健診経費	事業者健診結果データ取得勧奨	9,365,000	23,372,000
			協会けんぽ主催の集団健診の実施	7,220,000	
			健診推進経費	2,530,000	
			受診勧奨対策経費(パンフレット等の作成)	4,040,000	
		その他経費	217,000		
		保健指導経費	保健指導推進経費	1,089,000	1,960,000
			中間評価時の血液検査	561,000	
			その他経費	310,000	
		重症化予防対策	未治療者への受診勧奨(文書・電話)	4,274,000	11,292,000
			糖尿病性腎症重症化予防事業	2,585,000	
			初めて該当となった1次勧奨対象者への受診勧奨	4,400,000	
			その他経費	33,000	
	コラボヘルス (一社一健康宣言)	一社一健康宣言運営費用	3,879,000	4,746,000	
事業所健康診断シートの作成		867,000			
その他保健事業計	健診機関及び事業所と協働した要治療者への受診勧奨	1,815,000	1,815,000		
通常枠 合計額 (予算上限額)			43,185,000 (43,201,000)		
特別枠		糖尿病に関するSNSを活用した広報	特別枠計上額 (予算上限額)	5,990,000 (10,680,000)	

【赤字は令和5年度新規事業】

【特別枠】令和5年度より新設。通常枠予算とは別に、エビデンスを踏まえた自支部の課題解決に向けた取組に意欲的な支部に対し追加交付するもの。

4.大支部の重点課題と令和6年度事業内容の検討について（一覧）

支部の重点課題

【①医療費情報より】

- R4年度年齢調整後加入者一人当たり医療費が高い(全国7位)
- 特に入院医療費が全国平均と比べて高い(全国5位)
- 生活習慣病にかかる疾病では、「新生物」の入院医療費、「内分泌、栄養及び代謝疾患」の入院外医療費が全国平均と比べて高く、影響度が大きい。

【②健診情報等より】

- 健診及び特定保健指導の実施率は全国上位にあるが、未治療者の医療機関受診率が全国低位にある。

(令和4年度)

・医療機関受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合	7.8%(46位)
・被保険者 生活習慣病予防健診実施率	70.0%(10位)
・被保険者 事業者健診データ取得率	11.1%(14位)
・被扶養者 特定健診実施率	31.9%(10位)
・被保険者 特定保健指導実施率	29.5%(7位)
・被扶養者 特定保健指導実施率	32.7%(5位)

- 代謝リスク保有者の割合、BMIリスク保有者の割合、体重10キロ以上増加者の割合が全国平均と比べて高い。

【③令和5年度支部医療費分析(業態別分析)結果より】

- 総合工事業の一人当たり医療費が高く、疾病別に見ると新生物に関する医療費が同業態全国平均と比べても高い。喫煙率が高い。

令和6年度 事業内容(案)

①	若年層における健康教育の実施	継続	医療費 適正化予算	P5
②	SNSを活用した広報 (テーマ:糖尿病に関する広報)	継続	医療費 適正化予算	P6
③	新生児の保護者に対する適正受診啓発冊子の配布	継続	医療費 適正化予算	P6
④	70歳以上の加入者を対象としたお薬手帳ケースの配布	継続	医療費 適正化予算	P7
⑤	新入社員への医療費適正化冊子の配布	継続	医療費 適正化予算	P7
①	健診及び特定保健指導の実施	継続	保健事業 予算	P8
②	重症化予防対策事業の実施	継続	保健事業 予算	P9
③	コラボヘルス(一社一健康宣言事業)の展開	継続 (強化)	保健事業 予算	P10
④	総合工事業に特化した取り組み	新規	保健事業 特別枠	P11 P12

5.医療費適正化事業（案）

①若年層に対する健康教育の実施

継続

令和4年度支部独自分析結果より、大分支部の糖尿病医療費は年々上昇しており、特に30～40代の伸び率が高いことが分かった。そこで、これから生活習慣の基盤を形成する若年層（主に高校生～新入社員）を対象とした健康教育を行い、生涯に渡り正しい生活習慣を身に付けてもらうことを目的とし事業を実施。

【令和5年度実施状況（R5.9月末時点）】

- 新入社員向け出張講座：17社実施 【4/8大分合同新聞掲載】
- 高校生向け健康授業：1校実施（年度内合計 3校実施予定）
- 親子参加型食育イベントの開催（7/26）：13組の親子が参加【8/2大分合同新聞掲載】

【新入社員向け出張講座案内チラシ】

令和5年度 全国健康保険協会 大分支部 協賛

意外と知らない 健康保険と生活習慣についての
出張講座のご案内 無料

いま大分県では、現代世代の生活習慣の増加と変化が進んでおり、健全体の医療費の上昇に加え、企業においては労働力の確保にも影響してくると考えられています。そこで、未来の抱い手である若手従業員の皆さまを主な対象とした、無料の出張講座を実施いたします。

実はよく知らなかった「健康保険」のこと、保険料と医療費の関係、自身の生活習慣について・・・

あらためて、確認してみませんか？

健康的な職場づくり、社員研修のテーマに、ぜひご活用ください！！

★若手従業員以外でもご利用OK！ 皆さまで受講いただけるようお願いいたします！
★大分県健康経営事業所認定の、認定講師が（事業所ぐるみの健康増進の取り組み）としての活用もできます！

受講された皆様の声（アンケートより抜粋）

自分の生活を振り返ると、社会人になって初めて、わがやがてためになりました。

ご都合に合わせて、実施内容や時間などの調整が可能です。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先：協会けんぽ大分支部 企画総務グループ ☎097-573-6641

【令和6年度の事業の方向性】

- 新入社員向け出張講座は、主に4月・10月に実施できるよう案内を送付し継続実施
- 健康授業は対象を高校生から大学生・専門学校に広げ、実施する **（対象を拡大）**
- 食育イベントは、関係機関（各地域保健所等）と調整を行い継続実施

【親子参加型食育イベントチラシ】

おうちのひといっしょに夏休みの自由研究をしよう！

夏休みかそくで学ぼう！

やさいのパワー！

本物のお野菜を使って勉強するびん！
「一日分の野菜」+「すぐに使えるお野菜レシピ」もらえるよ！

日時 令和5年7月26日(水) 13:30～14:30

場所 別府市保健センター 多目的ホール
(道のまちなみこらパーク)

問い合わせ先: 097-573-6641 (協会けんぽ大分支部)

定員 15組
(別府市在住の小学1～3年生とその保護者)
応募者多数の場合は抽選となります。

保護者の参加へ 別府市は「子どもの肥満」が多い!?
大分県は「糖尿病」が増えている!?
保護者の食生活は、お子さんの将来の食生活に大きな影響を及ぼします。この機会に、ご家族の健康づくりをお子さんと一緒に学んでみませんか？

参加費 無料

【主催】 別府市・大分県健康増進課・全県健康保険協会(協会けんぽ)大分支部

④ 70歳以上加入者の適正受診、制度周知を目的としたお薬手帳ケース等の送付

継続

70歳以上の加入者が受診に必要な保険証、高齢受給者証、お薬手帳をひとまとめにできるケースを作成し送付する。お薬手帳の携行率上昇により重複投薬や禁忌服用を予防し、医療費適正化を図る。

【実施状況】

- 令和4年度：3,804件送付
- 令和5年度：1,778件送付（令和5年9月末時点）

【令和6年度の事業の方向性】

● アンケート調査では「保険証とお薬手帳等がまとめて持ち運びができ便利になった」等、お薬手帳の携行率上昇に繋がる回答が得られており、医療費適正化に資する取組として令和6年度も継続して実施する。また、ジェネリック医薬品切り替え希望シールの同封を継続し、お薬手帳や診察券等への貼付を促す。

⑤ 新入社員への医療費適正化冊子の配布

継続

新規加入者とその事業主に健康保険制度の基本的な知識や仕組みを周知するとともに、社会人1年目から取り組む健康づくりの重要性などを伝え、医療費適正化を図ることを目的として実施。

【実施状況】

- 令和4年度：949事業所 1,950名分送付
- 令和5年度：1,442事業所 3,785名分送付（令和5年9月末時点）

【令和6年度の事業の方向性】

● 引き続き、生活習慣の基盤を形成するタイミングである新入社員を対象とした啓発冊子を送付することで医療費適正化を図るため、事業を継続する。



6.保健事業（案）

継続

① 健診および特定保健指導への取り組み

【令和4年度実施結果】

（健診関係）

生活習慣病予防健診受診率（被保険者）	・ ・ ・ 70.0%	（対象者数 165,808人 実施人数 116,140人）	全国10位
事業者健診データ取得率（被保険者）	・ ・ ・ 11.1%	（対象者数 165,808人 取得人数 18,397人）	全国14位
特定健診受診率（被扶養者）	・ ・ ・ ・ ・ 31.9%	（対象者数 41,869人 実施人数 13,347人）	全国10位

（保健指導）

特定保健指導実施率（被保険者）	・ ・ ・ ・ 29.5%	（対象者数 24,704人 実施人数 7,289人）	全国7位
特定保健指導実施率（被扶養者）	・ ・ ・ ・ 32.7%	（対象者数 1,087人 実施人数 355人）	全国5位

【更なる保健事業の充実チラシ】

【令和6年度の事業の方向性】

（健診関係）

- 生活習慣病予防健診の自己負担額軽減及び付加健診の対象年齢の拡大等について広く周知を行うことにより利用の拡大を図る。
（事業所及び被保険者への利用勧奨の実施。関係機関と連携した情報発信の実施）
- 関係機関（大分労働局・大分県・健診機関等）との連携を更に深め、事業者健診データの取得拡大及び早期提出を目指す。
- 支部主催の被扶養者特定健診（集団健診）により受診機会の拡大を図り、受診率向上を目指す。

（保健指導）

- 実施率への影響が大きいと見込まれる事業所や業種等を選定し、重点的かつ優先的に働きかけを行い、効果的・効率的な特定保健指導面談受入勧奨を実施する。

あなたとあしたへつづく、健康を。
けんぽのいっぽ!

令和6年度から、さらに皆さまの健康を守り続ける、新たな取組を順次開始します。
さらに充実、一步先へ! 協会けんぽの「健康づくり」事業

令和5年
4月
スタート

生活習慣病予防健診等の自己負担の軽減

一般健診
対象: 35歳~74歳の被扶養者(本人)

総額 **7,169円** → 経過後 **5,282円** (最高)

協会けんぽの生活習慣病予防健診は、
血圧測定 | 血球検査 | 脂質検査 | 心電図検査
尿糖検査 | シンクタン検査 | 腎臓レントゲン検査
喫煙状況検査

メタボリックシンドロームとともに
5大がん (肺がん | 胃がん | 大腸がん) までカバー!
※子宮頸がん検診、乳がん検診は、別途自己負担が必要です。

※メタボリックシンドロームとは、おさまりに内臓脂肪がたまることで高血圧・高血糖・高脂血症・高尿酸血症・肥満が並び、生活習慣病になりやすくなる状態のことです。

付加健診 **4,802円** → **2,689円** (最高)
※令和6年度より、付加健診の対象年齢について、健行の40歳、50歳に拡大、45歳、55歳、60歳、65歳、70歳も対象になります。

※付加健診とは、翌日の年齢において、肝臓、胆のう、腎臓といった腹部の臓器の様子を確認するための腹部超音波検査や、高血圧・高血糖化などを見つかりやすい病態を捉え、より詳細な健診です。

子宮頸がん検診、乳がん検診、肝炎ウイルス検査の自己負担も同様に軽減します。

健診を受けた後の行動こそが大切です!

異常なし
引き続きの
健康づくり、
毎年の健診を!

生活習慣の改善が必要
特定保健指導を利用しましょう!

特定保健指導って??
健診の結果、メタボリックシンドロームのリスクのある40歳~74歳までの方を対象に行う健康サポートです。健康に関するセルフケア(自己管理)ができるように、健康づくりの専門家である保健師または管理栄養士が寄り添ってサポートします。

医療機関への受診が必要
医療機関に早期受診を!

未治療者への受診勧奨!
協会けんぽでは、健診の結果、血圧値、血糖値、LDL(悪玉)コレステロール値が「要治療」「要精密検査」と判定された方で、医療機関への受診が確認できない方へ受診をお勧めするご案内をお送りしています。
※令和6年度より、届出業務(ご来院)にも医療機関への受診のご案内を開始します。

全国健康保険協会 大分支部
協会けんぽ
TEL: 097-573-6642 (受付時間: 平日9:30~13:15)
〒86-0072 大分県大分市東通町1-1-1 (大分県庁2階202号室)

特設ページはこちらから▶▶

②重症化予防対策への取り組み

継続

【実施結果】

●要精密・要治療者の医療機関受診勧奨後、3か月以内に受診した者の割合

年度	大分支部実績(受診率)	全国平均受診率	大分支部全国順位
令和2年度	9.8%	10.1%	33位
令和3年度	8.7%	10.5%	43位
令和4年度	7.8%	9.9%	46位

●未受診者への医療機関受診勧奨

1次勧奨対象者（本部による文書勧奨）に対する支部独自の追加文書勧奨の実施

●医療機関を受診しやすい環境・体制づくりの取り組み

◎健診機関による健診当日の医療機関受診勧奨の実施（健診機関との連携強化）

◎大分労働局と連名で事業主に対し健診後の事後フォローの重要性を周知するための文書を送付

◎広報誌による広報

協会けんぽニュースおおいた8月号 対象：全適用事業所（約24,000件）
 けんぽ委員だより6月号 対象：健康保険委員（約3,200件）
 社会保険おおいた5-6月号 対象：大分県社会保険協会会員事業所（約7,000件）

今後も、協会けんぽニュース大分3月号、けんぽ委員だより2月号、社会保険おおいた3-4月号
 支部メールマガジンに掲載予定

【令和6年度の事業の方向性】

- 引き続き、1次（本部：文書）・2次（支部：文書・電話）の受診勧奨により、医療機関への受診を促す。
- 関係団体（大分労働局・大分県・経済団体・健診機関等）と更なる連携を図り、『健診当日の受診勧奨』や『事業主への働きかけ』を強化する。
- 支部内広報ツール（協会けんぽニュース大分、けんぽ委員だより、社会保険おおいた、メールマガジン等）を利用し早期受診の重要性と職場の環境づくりへの協力依頼を継続する。

【協会けんぽニュースおおいた8月号】

協会けんぽニュース
2023年 8月号
社内で回覧・掲示をお願いします。

健診は受けた後の行動こそが重要です
「要治療」「要精密検査」となった場合は早めに医療機関へ!

協会けんぽでは、加入者の皆様の生活習慣病の重症化予防対策として、健診結果（血圧、血糖、脂質）で医療機関の受診が必要と判定されながら、受診をされていない方に対して受診勧奨ハガキを送りしています。

受診勧奨の対象となる方(①～③のすべてに該当される方)

- ① 35歳以上75歳未満の生活習慣病予防健診を受診された被保険者の方
- ② 健診受診前1か月～健診受診後3か月の間(健診受診月を含む)に医療機関への受診が確認できない方
- ③ 以下の受診勧奨基準のうち、いずれか1つでも該当される方

血圧	血糖	脂質
収縮期血圧 160mmHg以上 拡張期血圧 100mmHg以上	空腹時血糖 126mg/dl以上 HbA1c 6.5%以上	LDLコレステロール 180mg/dl以上

事業主様へのお願い
 「要治療」「要精密検査」と判定された方がいた場合は、事業主様からも対象の方へ早めの医療機関受診を促してください。

対象の方が医療機関を受診しやすい**重要**職場の環境づくりにご配慮いただきますようお願いいたします。

大分支部では、医療機関の受診が必要と判定されながら、受診をされていない方に対し、文書及び電話による受診勧奨を以下の専門機関に委託して実施しています。委託先機関より事業所様を通じて対象の方へご連絡を差し上げることがございますので、お電話のお取次ぎ等のご協力をお願いします。

委託先機関 株式会社 エム・エイチ・アイ 東京都新宿区高田馬場4-39-7 TEL: 0120-850-352

大分支部の受診勧奨対象者の医療機関受診率は、**全国最下位**となっています(令和3年度実績)。この受診率は、インセンティブ制度の評価項目の1つであることから、**皆様にご負担いただく保険料にも影響を与えます。**

任意継続保険のご加入は郵送でのお手続きがオススメ!
「任意継続保険申請セット」をホームページに掲載しています

大分支部ホームページでは、退職後に任意継続保険のご加入を検討されている加入者様向けに「任意継続保険申請セット」を掲載しています。退職される従業員様がいらっしゃいましたら、ご案内くださいますようお願いいたします。



③ コラボヘルス（一社一健康宣言事業）の展開への取り組み

【令和5年度実施状況（R5.9月末時点）】

- 一社一健康宣言の新規エントリー勸奨の実施
 - 文書勸奨を基本とし、関係団体（大分県、経済3団体、社労士会、保険会社等）との連携推進を図りながら、新規エントリー勸奨を実施。≪9/19（5,032社）≫
- 宣言事業所のサポート
 - 健康経営を始める上でのスタート支援・県、経済産業省認定をサポートする認定支援・健康講話の実施(合計15件)
 - 事業所の健康課題を見える化した事業所健康診断シートを送付（9月）
 - 健康情報誌「四季の報」の提供（5月、9月）、広報誌「一社一健康だより」の配布（7月）
- 健康宣言項目の標準化への取り組み
 - 宣言項目（取り組み内容）の標準化に向けた文書等による勸奨と取り組み内容のサポートの実施。令和5年度9月末時点 1,725/2,163社（79.75%）が標準化済み

【標準化のための宣言内容報告書】

「一社一健康宣言」宣言内容報告書

「一社一健康宣言」事業所として、宣言する内容についてお知らせください。赤枠内をご記入ください。

共通宣言項目 (すべての宣言事業所様で取り組んでいただく内容です。具体的な数値を 〇〇% にご記入ください)
①健康診断の実施 法令に従い、従業員に対して定期健康診断を実施します。 従業員の健診受診率 <input type="text" value=""/> % <small>※最終目標は100%です。現在の受診率より高く無理のない数値をご記入ください。 (100%の場合は継続した取り組みをお願いします。)</small>
②検査・治療の勧奨 健診の結果で再検査や治療の必要性があった場合、医師勧奨への受診を確実に勧奨します。
③生活習慣の改善 生活習慣病（脳梗塞、脳卒中、糖尿病など）を防止するための、協会けんぽの実施する特定保健指導を確実に勧奨します。 特定保健指導の受け入れ（初回面談）実施率 <input type="text" value=""/> % <small>※最終目標は100%です。現在の実施率より高く無理のない数値をご記入ください。 (100%の場合は継続した取り組みをお願いします。)</small>

【令和6年度の事業の方向性】

- 引き続き、関係団体との連携推進を図りながら宣言事業所の拡大を行う。
- 各種サポート事業を継続し、事業所の健康経営を支援する。
- 好事例の取り組みを横展開できるよう情報発信を行う。
- 健康宣言項目の標準化への取り組みを**強化**する。
 - 引き続き、文書及び電話による宣言内容報告書の提出を求める。（年5回想定）
 - 全エントリー事業所の標準化について、本部スケジュールの令和8年度末までを前倒しし、令和7年度末を目標とする。
 - 標準化済事業所へのインセンティブを強化するため、職場の健康づくりに活用できる健康測定機器を無料で貸出。

④個別宣言項目※以下の i) から vi) の中から無理のない取り組みを1つ(もしくは複数)選択してください。
→裏面の個別目標の例を参考に、具体的な取り組みについて () の番号に○を付けてください。

i) 運動機会の提供をします。(1 2 3 4 5 6 7 8)
ii) 食生活の改善に努めます。(1 2 3 4 5 6)
iii) こころの健康づくり・体養の推奨をします。(1 2 3 4 5)
iv) 喫煙習慣の改善に努めます。(1 2 3 4 5 6)
v) アルコール摂取習慣の改善を推奨します。(1 2 3)
vi) 従業員自身の日常の健康状態把握・改善を推奨します。(1 2 3)

個別目標の「その他」に○を付けた場合は具体的な取り組みをご記入ください。

①、②、③に記入された目標は、「宣言書(ポスター)」への転記をお願いします。

④総合工事業に特化した取り組み

新規

【令和5年度 大分支部 独自分析 結果】

業態別の分析を行ったところ、以下の特徴がある「総合工事業」に対し、喫煙対策が必要であるとの結論に至った。

医療費情報	生活習慣病のリスク保有率	生活習慣に関する質問票情報
<ul style="list-style-type: none"> ●業態別1人当たり医療費(4位) ●業態別被保険者総医療費(3位) ●以下の疾病は生活習慣病に占める割合も高く、同業態全国平均の医療費割合と比べても高い <ul style="list-style-type: none"> ・その他の悪性新生物<腫瘍> ・気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> 	<ul style="list-style-type: none"> ●以下の生活習慣病リスク保有率が同業態全国平均よりも高い <ul style="list-style-type: none"> ・メタボリックシンドロームの該当 ・血圧リスク ・代謝(血糖)リスク ・肝機能リスク ●すべての生活習慣病リスク項目において、大分支部平均よりも高い 	<ul style="list-style-type: none"> ●20歳の時の体重から10^{kg}以上増加している人の割合が高い ●喫煙習慣がある人の割合が高い ●飲酒習慣がある人の割合が高い

【前回評議会意見】

事業を実施する上では、業界団体への働きかけがポイントであり、建設業団体等へ分析結果を情報提供しながら、課題をどう見つけるかが問題である。しかし、この分析結果によって業界のイメージ悪化につながらないように注意してもらいたい。また、喫煙対策についてはあまり強制するような表現は控えるなど慎重に事業を実施してほしい。

【令和6年度事業(案)】

◆喫煙対策用の事業所支援セットを送付◆

1. 情報提供文書

今回の分析を踏まえた総合工事業の医療費、健診結果、問診情報等の実態がわかるチラシを作成し、送付する。
(情報提供の際は業界のイメージが悪くならないよう表現に注意し、気づきを与えられる内容とする)

2. 禁煙支援ツール

禁煙促進のための「ポスター・リーフレット」や「禁煙外来案内チラシ」を配布し、事業所の喫煙対策をサポートする。

3. 出張講座の案内チラシ

喫煙対策に重点を置いた「出張講座(※)」の案内チラシを同封(出張講座は支部保健師等が実施予定)
(※出張講座までの希望はしないが喫煙対策を希望している事業所には、「禁煙対策のためのDVD教材」を無料で貸出し、サポートを行う)

4. 大分県の事業所禁煙サポート事業(※)の案内

県と連携し、事業所禁煙サポート事業を推進する。
(※禁煙パッチ剤の費用負担だけで、薬剤師派遣による禁煙サポートが受けられる制度。大分県健康経営事業所の登録事業所であることが条件)

【予算規模】 ポスター・リーフレット、出張講座テキスト・DVDの調達で **120万円程度** を想定

特別枠

◆大分県建設業協会との連携◆

1. 分析結果を提供し、課題を共有することにより、対応策等について協議を行う
2. 禁煙サポート事業について、会報誌への掲載やチラシ配布の協力依頼を行う
3. 建設業協会主催の講習会・研修会における喫煙対策の講話等の実施について依頼を行う

◆業界紙の活用◆

主に県内の建設業者が購読し約3,000部発行されている「大分建設新聞」などの業界紙に、広告を掲載する。

【予算規模】 記事掲載広告料として、**90万円程度** を想定

特別枠

